

スキー場での大会及び研修会等でのコロナ感染対策

基本事項

感染リスクは決して0(ゼロ)にはならないので、一人ひとりが自覚と責任を持って感染予防対策につとめる必要がある。

大会及び研修会等への参加者はスキー場のガイドラインに則って連帯協力する必要がある。
また、日本スポーツ協会及び全日本スキー連盟(SAJ)のガイドラインに準拠して運営します。

感染対策の基本

- 1 飛沫感染予防
 - ①マスク着用の徹底
 - ②咳エチケット
 - ③人と人との距離の確保
 - ④屋内の換気
- 2 接触感染予防
 - ①石けんによる手洗い・アルコール等による手指消毒の徹底
 - ②清拭消毒や手袋の使用

熊本県スキー連盟からのおねがい

- 1 大会中及び研修会、検定会中のマスク着用(競技中は除く)
- 2 定期的な石けんによる手洗いまたはアルコール等での手指消毒の徹底
- 3 マスク及びタオル、ハンカチ等の持参
- 4 長時間のレストランの使用の自粛(スキー場からの要請)
- 5 大会や研修会・検定会中の体調管理

参加者の遵守について

- 1 「健康チェックシート」の記入及び提出
- 2 チェック項目に1項目でも該当する場合の参加の見合わせ
- 3 日本スポーツ協会及びSAJのガイドラインによる感染予防の徹底
- 4 応援等の方についても参加者同様でお願いします。

予防の4原則

「三密回避」、「マスク」、「消毒」、「換気」

体調不良時のおねがい

急激な体調不良時は、スキー場の医務室は使わず、速やかに関係者に連絡の上、ご自身で早めの帰宅をお願いします。(近くに発熱外来で診療可能な病院はありません)

研修会の取り扱い

事前に「健康チェックシート」の項目に1項目でも該当があった場合は研修修了と認めます。下記の連絡先までご連絡下さい。

研修会中の急激な体調不良の場合も研修修了を認めます。関係者に連絡後速やかにご帰宅下さい。

国体予選等の取り扱い

事前に「健康チェックシート」の項目に1項目でも該当があった場合、参加を自粛し下記の連絡先までご連絡下さい。選手選考については各県連盟の対応によりますが、救済措置を講じることがあります。

大会中の急激な体調不良の場合も同様の措置をとります。関係者に連絡後速やかにご帰宅下さい。

連絡先

大会関係 熊本県スキー連盟 玉名市岱明町野口1151-5 総務部長 木本 光昭 090-1871-0428

研修会・検定会関係 熊本県スキー連盟 菊池郡菊陽町原水1334エレイネ菊陽703 教育部長 敷地 慎一 090-9604-7618

※ 参加者の中には不満も多いことを理解しておりますが、コロナ感染対策のための苦渋のお願いです。ご協力をお願いいたします。